

川越市下水道ストックマネジメント計画について(第二期 期間:R6~R10)

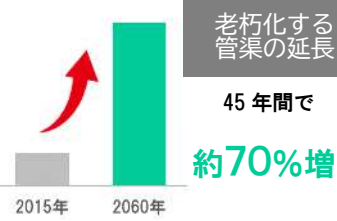
Check スtockマネジメントの必要性

人口減少社会の到来

このままこの状況が進むと.....

老朽化する施設が増加し

生産力は減少する

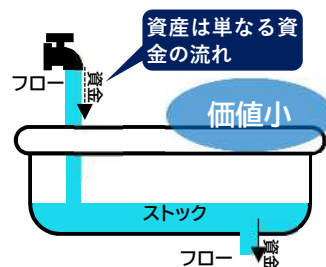


▶下水道は加速的に老朽化、生産力は年々低下するため、これまで同様の維持管理は困難となる。

Check スtockマネジメントの概念・思想

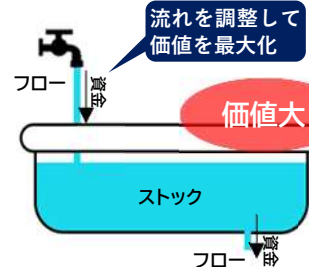
ストックの効果(風呂の価値を考える)

従来の事業運営



費用(フロー)	収益
資産(ストック)	負債
	純資産

ストックマネジメント



費用(フロー)	収益
資産(ストック)	負債
	純資産

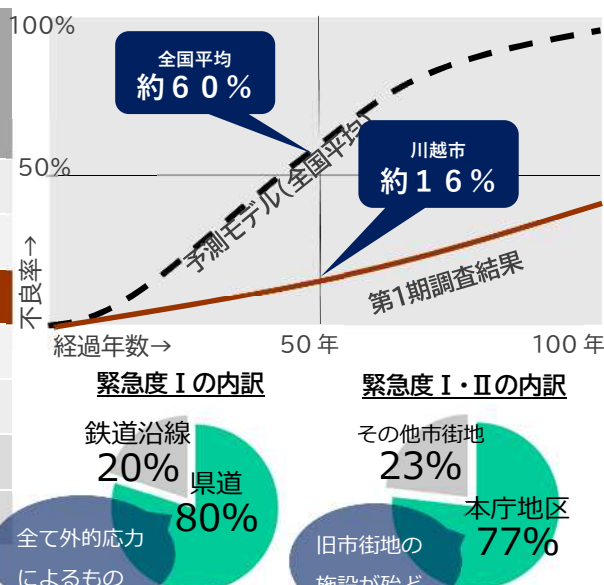
▶ストックマネジメント=“適切な資金管理による価値(利益)の最大化”

Check 第一期ストックマネジメントの検証結果

第1期調査結果(管渠施設)

予測モデルと調査結果の差(要対応)

項目	調査対象			異常の共通点	
	スパン	不良率	平均経過年数		
緊急度	I	10	1%	49年	交通量の多い道路など
	II	141	15%	48年	
	I II	151	16%	48年	5年以内の対応が必要
	III	414	43%	39年	
	I II III	565	59%	41年	
健全	399	41%	42年		
合計	964	100%	41年		



※第一期 R1~R5 年までの集計結果

▶予測を大きく下回る結果に。原因は腐食による劣化ではなく、外的な応力による損傷が目立つ結果に。

川越市第二期ストックマネジメントの概要

川越市ストックマネジメントの基本方針

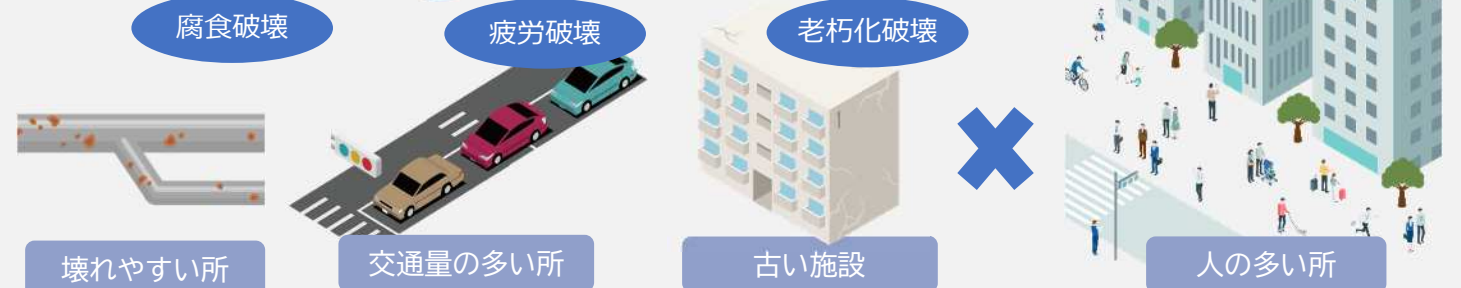
川越市のストックマネジメントは予防保全の観点から、必要な場所へ必要なだけ点検や調査を実施し、コストの削減を図るとともに、道路陥没などによる事故のリスクを軽減させ、市民の暮らしと安全を守ることを目的とします。

見えるもの 状態監視保全「監視しながら今あるものを出来るだけ長く使う」

リスク分類

Point

第一期の結果から、緊急度の判定は以下要素により行います。



管理の方法

Point

点検や調査で取得したデータを解析して修繕や改築を行います。



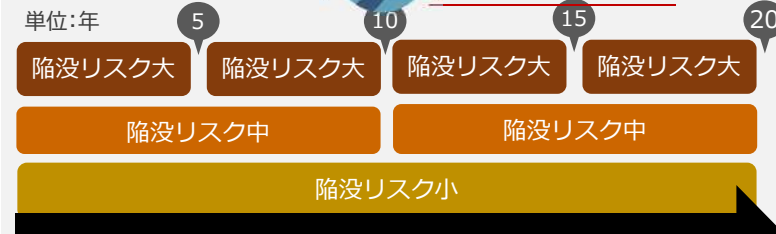
点検頻度のイメージ

Point

リスクの大小に応じて点検頻度を設定。

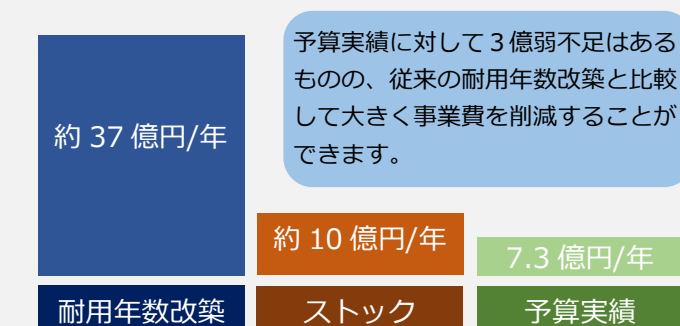
見えないもの

時間計画保全「予測周期で対応」



第二期ストックマネジメント計画の効果

フロー効果



ストック効果

